様式3　日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和5年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	52-2111	代表者	日向市長　十屋 幸平
名称等	名称	株式会社　日向サンパーク		所　在　地	日向市大字幸脇303番地5		
	設立年月日	平成14年1月8日		電話番号	TEL：0982-56-3800 FAX：0982-56-3805	ホームページアドレス	https://hyugasunpark.wixsite.com/sunpark/home
資本金	50,000千円	設置目的	市民の憩いの場及び健康増進施設	事業(業務)内容	道の駅・オートキャンプ場・体育施設の経営・管理・運営		

役職員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額(千円)R4年度
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R4年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	
	7	0	0	3	0	56	33,236

第三セクターへの関与の状況

(1)公的支援(財政的関与)

項目	金額(千円) R2	R3	R4	備考(目的・内容・算出根拠等)
①　運営補助金	71,093	6,694	4,614	道の駅日向の管理委託料、事業復活支援金
②　指定管理料	19,276	11,735	11,111	オートキャンプ場及び体育施設に係る管理料
③　貸付金	83,549	0	0	
④　その他(損失補償金)	18,391	0	0	
合計	192,309	18,429	15,725	
・短期貸付金残高				
・長期貸付金残高	58,549	46,839	40,984	
合計	58,549	46,839	40,984	

(2)人的支援(人的関与)	出資割合(92%)から市長が代表取締役社長に就任している。副市長が取締役に就任している。	
(3)その他の取組(その他の課題)	・指導・監督の強化	第三セクターに関する指針策定
	・情報の公開	日向サンパーク 改革プランに基ずく点検・評価結果の公表

法人自らによる経営健全化のための具体的な取組

経営課題	経営健全化策(具体的取組)	取組結果	点検・評価
経営形態見直し策	施設別経営状況の明確化による経営改善対策。施設別に決算書を作成、施設別の収支を明確にする。	現在、年度毎、月毎に施設別に決算書を作成しています。	□充分であった ☑ある程度あった □不十分であった 施設別の決算書の作成は有意義な取組ですが、アフターコロナとなったことで、現状の分析が特に重要になると考えます。 今後は、利用者のニーズに対応できているか、決算データ等を基にその効果はどうだったのか、施設間の連携にどの様に活用をするのかなどの分析を加えて、中長期的な経営戦略に繋げてください。
経営体制強化策	会社の経営状況を社内で共有することにより、経営参画意識の向上に努める。	各施設の長、副館長、係長、主任に朝礼やミーティングを通じて、その他の社員には業績状況の回覧を流し、経営状況等の情報を共有化し経営参画意識の向上に努めました。	□充分であった ☑ある程度あった □不十分であった 情報共有だけでは経営参画意識の醸成は難しいと思いますので、意見交換や社員からの提案の機会を設定するなどの更なる取組を期待します。
収入増加確保対策	詳細な事業計画・収支計画を検討した上で、団体客の誘致や、企業の福利厚生施設としての利用、各種イベントの実施等で費用対効果の高い集客増を図り、収益増加・確保に繋げる。	道の駅出荷者協議会と連携し、10月、1月、3月と年3回イベントを実施し集客力の向上に務めました。イベント費用については出荷者協議会の会費より捻出しており会社からの支出を抑えております。また、6月から翌2月中旬にかけて日向市観光4駅消費喚起事業として宅急便送料無料キャンペーン(2,500円以上お買物送料無料)に参加し売上げ収益向上を図りました。更に年間を通して国の全国旅行支援の対象施設(キャンプ場)クーポン券利用施設(物産館)に登録し集客収益増加を図りました。	□充分であった ☑ある程度あった □不十分であった 国等の事業を積極的に活用し、売上増加につながったことは経営努力の結果であると思います。 一方で、国等の事業は一時的なものとなりますので、これらの事業の効果を分析しながら、道の駅出荷者協議会と連携したイベントの拡充、大型遊具やドッグランを活用した新たな事業の展開など、更なる収益の安定化につながるような事業の構築に取り組んでください。
オリジナル商品・メニュー等の開発	(株)日向サンパークオリジナル商品やメニュー、企画の開発研究と販売に努める。	道の駅出荷者協議会の会員や納入業者と協力して季節ごとに新たな商品を出品して頂けるように開発販売に努めました。 特に、日向特産へべすや宮崎牛、完熟マンゴー、日向夏を使用したお菓子やジュース、餃子、ドレッシング、調味料などの加工食品の販売に力を入れました。地獲れの鮮魚、細島岩ガキ、伊勢海老などは他の道の駅にはない強みで集客に効果があると思われます。宮崎県の道の駅駅長会で開発した新商品も毎年好評を得ています。道の駅とキャンプ場のバーベキューセットは毎年内容をリニューアルし、お客様に人気です。	□充分であった ☑ある程度あった □不十分であった 地獲れの鮮魚などの取り扱いに加え、大型遊具の利用者が立ち寄りたくなるもの、日向サンパークでしか味わうことができないものなど、新たな商品開発を期待します。 アンケートの結果等を活用したターゲットの絞り込み、新たな商品開発、魅力的な売り場づくりに引き続き取り組んでください。
情報発信	ホームページの更新、リーフレットのリニューアル。	ホームページは定期的に更新しています。パンフレットは印刷会社、デザイナー選定し作成依頼中です。 その他、新商品、季節商品が入荷した度にSNSを活用した情報発信も行っています。	□充分であった ☑ある程度あった □不十分であった スマートフォンなどが普及する中、新たな誘客のためには情報発信が重要です。 ホームページの充実が図られていることは評価できますが、掲載内容や更新頻度等の検証とともに、更なる情報環境の整備に対する積極的な投資についての検討をお願いします。

	利用者アンケートの実施	アンケート調査により利用者のニーズや施設や経営に対する改善点を抽出する。	道の駅日向とオートキャンプ場にアンケート調査用紙を設置して、年代や来られた地域、ご意見ご要望などをお聞きし、業務や施設の改善、サービス向上に努めています。回収したアンケート用紙は施設別に綴りスタッフに回覧し情報を共有しています。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった アンケートの結果については、優先度や緊急度の判断とともに、法人と市との役割分担や中長期的な経営改善策への反映など、更に活用を図る必要があると考えます。 また、アンケート結果に対する対応の結果などを説明する機会・方法を設けることも重要ですので、本評価シートに記載することなどについての検討をお願いします。 なお、アンケートの手法として、紙媒体に加えて、スマートフォン等の活用についての検討もお願いします。
	社員の資質向上	各社員の能力を向上させることにより、営業経費の低コスト化、短時間での対応、高品質なサービスの提供を目指す。	キャンプ場では、予約方法を電話予約からネット予約に変更したことにより作業の効率化を図り、ネット予約操作を行う事でスタッフのパソコン操作能力向上に繋がりました。 物産館ではスタッフ間での業務の共有化を図る事により対応のスピード及び質の向上を提供できるようになりました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった ネット予約の導入は、利用者の利便性向上にも貢献することから、素晴らしい取組だと思います。 しかし、数字的にはまだ明確な集客増加につながっていないので、宿泊者のメールアドレス等に物産館の商品のPRを配信するなど、リピーターの獲得に努めてください。 また、社員の資質向上のためには、OJTを含めた研修が重要ですので、様々な研修会への参加についての検討をお願いします。 なお、業務の共有化の内容についての本評価シートへの記載や分析等についての検討もお願いします。
	契約の見直し	業務委託や物品購入については、業務内容や契約内容の見直しを随時行い、入札制度を用いる等、経費の削減に努める。	電気料金の契約を新電力から九州電力に変更し単価を下げ割引率を上げることが出来た(しかしながら電気料金の高騰により光熱費は上昇した) その他、樹木管理や廃棄物処理などの業務委託契約は契約内容を見直し年度毎に更新行っています。自動販売機の契約を日向市と協議し、令和5年度より日向市から日向サンパークに変更し、自主事業として取り組むこととしました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった 人件費や物価高の状況の中であっても、契約内容の見直し等による経費の削減に努めており、評価できます。 引き続き、効率的な施設の管理運営に取り組んでください。
	物件費の節減	省エネ対策(節電)・水道使用料(節水)を実践し、経費の軽減を図るほか、全ての経費について節約に努める。	施設内の使用していない冷凍冷蔵庫や照明などをこまめに切る事により節電対策に努めました。また、新電力会社から九州電力に契約を変更し経費の軽減を図りました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった 経費の削減については限界もあるかとは思いますが、無駄をなくすという意識で業務に取り組むことが重要ですので、社内での積極的なコミュニケーションを図りながら、引き続き、意識の醸成に努めてください。
	人件費の抑制	各部署の職員体制並びに勤務体制等を検討し、効率的な人員配置と経費抑制に努める。	物産館では出勤時間を細かく調整したり、短時間のアルバイト社員を雇用する事によって繁忙時間に効率よく人員配置を行うことができました。体育施設では、経理担当が受付業務を兼ねる事によりキャンプ場職員の負担軽減を図り、移動による経費抑制に努めました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった 効果的な人員配置や業務の割り当てについては、しっかり取り組まれているように思います。 少子高齢化の進行に伴う労働人口の減少が見込まれる中、各施設の利用者数が増加すれば、適正な数の職員が必要になります。 職員の確保や処遇の改善を図るためにも、収益の拡大に向けた方策の検討をお願いします。
市による財政的なリスク対処のための具体的な取組	アンケートの実施	サンパークの改善事項を把握し、信頼される会社経営に向けて取り組む。	日向サンパークオートキャンプ場に隣接してドッグランが整備されたことで、オートキャンプ場のペット同伴の検討を行うため、県内公設キャンプ場を管理している各自治体へのアンケート調査及びキャンプ場利用者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施しました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった アンケートの結果については、優先度や緊急度の判断とともに、法人と市との役割分担や中長期的な経営改善策への反映など、更に活用を図る必要があると考えます。 また、アンケート結果に対する対応の結果などを説明する機会・方法を設けることも重要ですので、本評価シートに記載することなどについての検討をお願いします。 市においても、他の市内観光施設を含めた利用者等のアンケートを実施すると有効だと思います。
	効率的な経営環境の整備	利用者ニーズや経営体制等を考慮しながら、効率的・効果的な営業形態がとりやすい環境を整備するため、条例等の改正や各種計画への位置づけを行う。	ブーゲンビリアの丘に整備された大型複合遊具や誰もが遊べる遊具を設置したユニバーサルエリアが整備されたことで、サンパーク来場者が増加しました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった 来場者の増加により、収益状況の改善が見られることは評価できます。 一方で、大型遊具の整備等の設備投資を回収するという視点からも、更なる情報発信や新たな商品開発による収益の確保が必要です。 他の市内観光施設との連携の強化により、相乗効果も期待できると思うので、市との協働についてもこれまで以上の取組の展開を期待します。
	修繕計画	施設の修繕計画を策定するとともに、予算の確保に努め、定期的に点検しながら計画に沿った更新に取り組む。	日向サンパーク体育施設管理棟のトイレの洋式化(男:1女:2)を行い、利用者への環境整備を行いました。 工事費:1,352千円	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった 市の公共施設全体の老朽化が進行する中では、優先度や緊急度の判断が重要です。 アンケート調査等により、利用者等のニーズを把握するとともに、将来を見据えた施設のあり方や費用対効果についても考慮しながら、効果的・効率的な修繕計画の推進に取り組んでください。

適正な契約	指定管理者制度による協定と業務委託契約を精査し、適正な契約内容と経費を確立し、管理責任の明確化を図る。	外部委託等の過年度実績を踏まえながら、指定管理業務委託料の精査を行いました。	☐充分であった ☑ある程度あった ☐不十分であった コロナ禍の影響により、今後はこれまでとは違った施設管理の必要もあるかと思います。 人件費や物価の上昇も考慮しながら、適正な業務委託契約の履行をお願いします。

財務状況

貸借対照表 項目	金額(千円) R2	R3	R4	損益計算書・正味財産増減計算書 項目	金額(千円) R2	R3	R4
資産合計	27,899	29,037	33,062	経常収益	286,320	171,254	209,123
負債合計	73,435	73,281	69,029	うち市からの補助金・委託料	101,491	18,848	14,225
資本合計	△ 45,536	△ 44,244	△ 35,996	経常費用	260,144	175,137	203,463
累積欠損金	△ 95,536	△ 94,244	△ 85,966	経常利益(損失)	26,176	1,501	8,486
				当期利益(損失)	21,021	1,292	8,278

指標関係

	成果指標(数値目標)	R元実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標		
財務指標	流動比率(%)	25.65	150.62	97	100以上	108.43	100以上		
財務指標	損失補償	0	0	0	0	0	0		
財務指標	短期貸付金	25,000	25,000	0	0	0	0		
財務指標	経常利益	△ 9,502	26,176	1,501	14,325	8,486	15,589		
活動指標	利用者数(人)	374,389 (221,320)	161,885	134,901	231,000	155,630	232,000		
活動指標	温泉館客単価(円／人)	702	−	−	−	−	−		
活動指標	物産館売上額(千円)	224,943	162,778	154,727	212,200	186,865	216,300		
活動指標	オートキャンプ場稼働率(%) コテージ	22.5	13.8	12.4	33.2	21.4	34.0		
活動指標	オートキャンプ場稼働率(%) ログハウス	14.0	10.2	9.8	19.7	20.1	20.5		
活動指標	オートキャンプ場稼働率(%) テントサイト	9.3	8.6	6.0	8.4	9.5	8.5		

財務・活動・成果指標取組結果

利用者数は令和3年度と比べ20,729人増加しました。道の駅日向物産館が14,847人の増、オートキャンプ場が1,912人の増、体育施設が2,377人の増となりましたが目標数を75,370人下回りました。増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症は第7波第8波と感染拡大しましたが移動制限も緩和され一年間お客様に利用していただいた事や施設の休業要請がなかった事があげられます。
財務状況としましては売上高で209,123千円、前年比37,869千円の増となっています。営業利益につきましては、5,661千円となり、前年度比9,543千円の増となりました。当期純利益につきましても8,278千円、前年比6,986千円の増となりました。

第三セクター経営検討委員会点検評価総括

利用者数の増加や営業利益の確保については、経営改善に向けた日々の努力の成果であると思います。
一方で、利用者数の増減に左右されない経営環境を構築するためには、アンケート調査の手法、アンケート調査結果や決算書の分析、積極的な情報発信や新商品の開発などの取組について、まだまだ改善の余地があります。
また、社会経済活動の正常化が進む中、物産館をはじめとする各施設の魅力の向上や他の市内観光施設との連携も重要です。
市との連携を密にしながら、現状に満足せず、中長期的な視点とスピード感を持ちつつ、更なる経営改善に向けた取組を期待しています。

第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	結果			
	B	⇒	A	経営努力を行いつつ事業は継続
		⇒	B	事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要
		⇒	C	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要
		⇒	D	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要

第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見

市

今後の方向性	結果			
	イ	⇒	ア	経営努力を行いつつ現状のまま存続
		⇒	イ	事業内容等の見直しを行った上で存続
		⇒	ウ	再建を行いつつ存続
		⇒	エ	廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡
		⇒	オ	その他（　　　　　　　　　　　　）

今後の取組について

令和3年度に整備したブーゲンビリアの丘の大型複合遊具施設のほか、子どもたちの誰もが楽しむことができるユニバーサルエリアの利用者が増加傾向にあり、本年度5月に行ったアンケート調査でも「満足度が高い」という意見を多数いただきました。
今後も利用者のニーズを把握するためにアンケート等を実施していきます。
また、オートキャンプ場内に整備したドッグランについては、令和4年度に累計で1，723頭の利用がありました。
令和4年度に県内の公設キャンプ場のペット同伴に関する実態調査や利用者アンケートを実施し、様々なご意見をいただいたところですが、具体的な方向性の決定には至っていないことから、引き続き、指定管理者を含めた検討を進めていきます。
その他、オートキャンプ場では、施設の老朽化が課題となっており、体育施設等については、年次的にテニスコートのネットの更新等を行っているところですが、今後も施設利用者の誘客を図るための施設改修や設備・備品等の更新について、優先度や緊急度を判断しながら、計画的に取り組んでいきます。

日向サンパーク株式会社

今後の取組について

新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し、日常生活もコロナ禍前に戻ることから、サンパークにも多くの利用者が訪れていただけるものと考えられます。
今後もサンパークの各施設の活用を図りながら、HPやSNSによるここにしかない魅力の発信に取り組んでいきます。
道の駅日向物産館については、へべす、岩ガキ、伊勢海老、新鮮な鮮魚など、他の道の駅や直売所などにはない日向市の特産物を販売するとともに、新しい食材の掘り起こしにも力を入れながら、県の旅行支援「宮崎キャンペーン」のクーポン利用店舗として、PRに努めていきたいと考えています。
キャンプ場については、旅行支援「宮崎キャンペーン」のクーポン発行事業所として、物産館との連携を図りながら更なる魅力を発信し、昨年導入したネット予約や新たに取り組む予定であるホームページのリニューアルとあわせて、利用者増を図っていきます。
また、キャンプ用品のレンタルや物産館商品の販売などの充実を図るほか、オリジナルの案内標識の看板などの設置により、来られたお客様に親しみを持っていただけるような取組にも注力していきます。
体育施設については、昨年新設した大型遊具やユニバーサルデザインを取り入れた遊具エリアを中心に、市民・利用者の健康増進や憩いの場としての役割を果たすとともに、中高生の部活動での利用が多いテニスコート、地元や市外のサークル活動で楽しんでいただいているグラウンドゴルフ場などを絡めながら、市民・利用者の健康増進や憩いの場としての利用者の増を図りつつ、物産館・キャンプ場の集客にも繋がるようPRしていきます。
ここ数年、経営も安定し、令和2年度に借り入れた長期借入金(総額58，549千円／単年度返済金額5，855千円・10年返済)についても、返済計画に沿って順調に返済しているところですが、今後とも更なる増収増益を図りながら、1年でも早い債務超過の解消を達成できるよう安定経営に取り組んでいきます。

その他特記事項